

かのや未来創造プログラム

平和の花束2025セレモニー

「かのや」から世界へ、平和のメッセージを届けます。

日 時 8月8日(金) 13:30～16:30

場 所 リナシティかのや3階ホール

入場料 無料

内 容 第1部 平和へのメッセージ
第2部 平和を考える(講演等)

〇市学校教育課 TEL 0994-31-1137



不屈の指揮官“美濃部 正”の生涯

講演落語会「特攻セズ」

岩川に拠点を置いた飛行隊「芙蓉部隊」の指揮官
美濃部正少佐の生涯を題材にした桂竹丸師匠渾身の
創作落語。

日 時 8月17日(日) 15:30～17:00

場 所 リナシティかのや3階ホール

入場料 一般2,000円 高校生以下1,000円

※未就学児入場不可

販売所 市文化会館、
リナシティかのや3階売店、
電子チケット (teket)

〇市文化会館 TEL 0994-44-5115



平和祈念コンサート

「平和」をテーマとした子どもから大人まで相互
に関わりあって作る市民参加型コンサート。

日 時 9月7日(日) 13:30～

場 所 リナシティかのや3階ホール

入場料 無料

〇市生涯学習課 TEL 0994-31-1138



国難に殉ぜられた御霊を慰め

恒久平和の実現を祈念

鹿屋市戦没者合同追悼式

これまで市内3か所で行ってきた戦没者追悼式
を市全体で平和を願う式典として合同で実施しま
す。合同追悼式はどなたでも参加できます。みん
なで恒久平和を願いましょう。

日 時 11月2日(日) 10:00～11:20

場 所 市文化会館

入場料 無料

〇市福祉政策課 TEL 0994-31-1113



スケジュール

戦後 80 年事業スケジュール

いのち こだま 生命の絆を聞く かわばたやすなり ～川端康成と特攻～

昭和 20 年4月から5月、海軍報道班員として鹿
屋に滞在し、特攻隊員を見送った川端康成。のちの
川端文学に与えた影響を深掘りする。

日 時 8月3日(日) 13:30～15:30

場 所 リナシティかのや3階ホール

入場料 無料

講 師 多胡 吉郎 氏(作家)

申 込 7月30日(水)までに

専用フォームから申込(先着順)

〇市生涯学習課 TEL 0994-31-1138



朗読劇

永久の祈り ～桜の聲はいつもそこに～

恒久平和を願う未来へのメッセージを「演劇集団
インディゴプランツ」による朗読劇でお届けします。

日 時 8月6日(水) 13:30～

場 所 鹿屋商工会議所

入場料 小中学生 無料

大 人 1,000円

〇市平和への願いを子どもたちに伝える会

TEL 090-4510-0648(永山)



特別企画展

※P6参照

日 時 8月8日(金)～17日(日) 10:00～20:00

場 所 リナシティかのや2階ギャラリー

入場料 無料

〇市ふるさとPR課 TEL 0994-31-1121



創作舞台

野里国民学校 ※P8参照

日 時 8月8日(金) 18:30～20:00

9日(土) 13:30～15:00

場 所 リナシティかのや3階ホール

入場料 1,000円(当日券1,200円)

〇市ふるさとPR課 TEL 0994-31-1121



ピックアップ

ミュージカル (ニライスタジオ)

舞台 野里国民学校

軍報道員「山岡莊八」氏の目から見た野里国民学校で
過ごす若き特攻隊員とそれを取り巻く市民との触れ合い
をミュージカルで表現。

日 時 8月8日(金) 18:30～20:00

9日(土) 13:30～15:00

場 所 リナシティかのや3階ホール

入場料 1,000円(当日券1,200円)

販売所 市文化会館、

リナシティかのや3階売店

〇市ふるさとPR課 TEL 0994-31-1121



7月6日、リナシティかのやでリハーサルを行いました。



あらすじ

1945 年、第二次世界大戦はついに最終局面となっ
ていた。ヨーロッパではドイツ イタリアが降伏。いよ
いよ沖縄に上陸した米軍に向けて、日本は最後の切り
札神風特別攻撃隊を送り込んだ。

鹿屋には海軍の最前線基地が置かれ、全国から集め
られた特攻隊員が明日をも知れぬ出撃命令を待ってい
た。そんな彼らの宿舎が野里国民学校だった。

出撃命令を待つ若き学童たち。従軍記者として随行し
た作家山岡莊八は彼らの笑顔が印象的だったと記してい
る。迷い悩みながらも笑って飛び立っていった若者たち。
最後の時を過ごした野里国民学校を鹿児島県の演劇人た
ちが描く。



— Interview —



自分が育った まちで起きたことを 知ってほしい

蔵ヶ崎 美月 さん 鹿屋高校3年

Data こどもの頃から歌や踊りが大好
きで高校生ミュージカル「ヒメ」と
「ヒコ」に出演。

今回の舞台に参加するきっかけ
は、脚本家の松永太郎さんに誘っ
ていただいたこと、特攻という自
分のまちで実際にあった出来事だっ
たことに興味を持ったからです。
ただ最初に話をいただいたとき
はもちろん、台本を読んでもこの
鹿屋で本当に起きたことだという
実感が沸きませんでした。それが、
実際に稽古が始まり、仲間の役者
さんたちが演技しているのを見て、
本当にあったことなんだと実感し

この舞台は、戦争末期の話な
ので重く、涙のシーンが多いと思
われるかもしれませんが、決して
つらい場面ばかりではなく、むし
ろユーモアのあるシーンや明るく
元気に踊るシーンが多かったり、
松永太郎さんのオリジナル曲が
生演奏で披露されたり、様々な
見どころがありますので、多くの
人に見てもらいたいです。
また、中高生にとっても非常
に有意義な作品だと思います。
これまでの平和学習で同世代の
方が戦争に参加していたことは
知っていると思います。でもどこ
か他人事と感してしまっている人
もいるのではないのでしょうか。本
当はどうだったのか、これまでの
自分のイメージは正しいのか、と
考えさせられる内容となっている
ので、ぜひ、ご覧ください。

